

令和6年度

一般選抜（I期）問題

試験日 1月31日

日本史

試験開始までに下記の注意事項をよく読んでください。

注意事項

- ① 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- ② 開始の合図後、解答用紙に「氏名」、「個人番号」を記入すること。
- ③ 受験票、筆記用具以外は、机の上に置かないこと。
- ④ 受験票は机の上に貼付してある「個人番号」の手前に置くこと。
- ⑤ 記述解答で、字数の指定がある問題では句読点は1字として数えること。
- ⑥ 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- ⑦ 試験中は退席しないこと。（気分が悪くなった場合は、手を挙げて監督者に知らせること）
- ⑧ 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ること。

〔1〕次の文章は、2023年に起きたでき事を振り返った大学生優花と正史先生の会話である。この文章を読み、下記の問いに答えなさい。

優花：令和5年の⁽¹⁾G7広島サミットで、ウクライナのゼレンスキー大統領が来日しましたが、ロシアのウクライナ侵攻は長引いており、被害がひどくなって大変ですね。

正史：ロシアのプーチン大統領は、ウクライナをネオナチと称して、攻撃しています。ネオナチとは、極右民族主義を源流とする第二次世界大戦後の政治運動で、その一部には、⁽²⁾ナチスドイツを支持する団体もあります。ウクライナの正規軍には、ネオナチが組み込まれていると批難されたこともあり、ロシアのウクライナ侵攻のプロパガンダとされていますね。

優花：日本とロシアの関係は、どのようになっていたのですか？

正史：ロシアは、16世紀以来、東方のシベリアを開拓して、17世紀前半には太平洋側に達し、1689年には清とネルチンスク条約を結んで国境を定めました。

優花：その頃の日本は、⁽³⁾5代将軍徳川綱吉の治世でしたね。

正史：日本がロシアと接するのは、田沼意次が、⁽⁴⁾蝦夷地へ派遣し、ロシアとの交易の可能性を調査させたことがきっかけです。その後、寛政の改革時の1792年に、ロシア使節ラクスマンが根室に来航し、⁽⁵⁾漂流民を届け通商を求めました。1798年には、千島列島の⁽⁶⁾択捉島を調査し、「大日本恵登呂府」の標柱を立てました。1804年には、ロシア使節レザノフが、ラクスマンが持ち帰った入港許可証を持って長崎へ来航しましたが、日本は追い返したため、樺太や択捉島が攻撃されました。日本は、⁽⁷⁾1808年に樺太を探査しました。1811年に国後島に上陸したロシアのゴローウニンを監禁し、翌1812年に択捉航路を開拓した高田屋嘉兵衛が抑留され、2人の釈放・送還で、ロシアとの関係は改善しました。

優花：そして、1853年にアメリカのペリーが浦賀沖にあらわれ、開国を求めたのですね。

正史：同じ1853年に、⁽⁸⁾ロシア使節も長崎に来航し、開国と国境の画定を求めました。翌年、下田で日露和親条約が結ばれ、下田と箱館を開港しました。ま

た、⁽⁹⁾国境については、千島列島の択捉島以南を日本領、得撫島以北をロシア領と決めました。

優花：次は、明治政府の対応になりますね。

正史：1875年に、樺太・千島交換条約を結び、樺太で持っていたいっさいの権利をロシアに譲り、その代わりに千島列島全島を日本が領有しました。そして、⁽¹⁰⁾日露戦争後の条約で、北緯50度以南の樺太と付属の諸島を譲受しました。

優花：ロシアと日本の国境問題については、その後の第二次世界大戦前後の対応から現在に続いているのですね。

正史：日ソ中立条約を無視し、日本に宣戦布告して⁽¹¹⁾満州・朝鮮に一拳に侵入しました。また、南樺太や千島列島はソ連軍が占領しました。

問1 下線部(1)について、G7首脳は原爆ドームのある平和記念公園、および厳島神社を訪問しました。関連する下記の質問に答えなさい。

- ① アメリカが史上はじめて広島へ原子爆弾を投下した直後、日本のポツダム宣言への対応を簡単に説明しなさい。
- ② 第二次世界大戦後、核兵器開発競争の時代に入ったが、1954年に、日本の漁船が南太平洋でアメリカの水爆実験の「死の灰」を受けたことを契機に、原水爆禁止運動が広まり、翌1955年より世界各国代表が参加して原水爆禁止世界大会が開かれている。その第1回目の開催地を答えなさい。
- ③ 厳島神社は、1168年に神殿造りの様式を取り入れた社殿に造営された。日宋貿易の拡大を図り、この造営をした人を答えなさい。また、厳島神社へ、その一門の繁栄を願って奉納された豪華な装飾経を答えなさい。
- ④ 1555年、厳島の戦いで、陶晴賢を破り、中国地方を統一した戦国武将を答えなさい。

問2 下線部(2)について、1936年に日本が日独防共協定を結んだ相手国である。『わが闘争』を出版して、ドイツを全体主義的国家へ扇動した政治家を答えなさい。また、当時の日本の総理大臣を、下記の語群から選び記号で答えなさい。

- a 岡田啓介 b 広田弘毅 c 近衛文麿

問3 下線部(3)について、犬を大事にし、生類すべての殺生を禁じた法を答えなさい。

問4 下線部(4)(6)について、2つの調査に参加した探検家を答えなさい。また、彼の師で、「経世秘策」「西域物語」で諸国との交易による富国策を説いた経世家を答えなさい。

問5 下線部(5)について、送還された伊勢の船頭を答えなさい。また、彼がロシアの首都ペテルブルクで謁見した女帝を答えなさい。

問6 下線部(7)について、樺太を探查した探検家を答えなさい。

問7 下線部(8)について、ロシア使節を答えなさい。

問8 下線部(9)について、日露和親条約で樺太における両国の対応をどのように定めたか、簡単に説明しなさい。

問9 下線部(10)について、条約名を答えなさい。また、条約を調印した日本・ロシアの全権大使を答えなさい。

問10 下線部(11)について、侵攻するソ連軍によって、満州へ移住していた日本人が悲惨な最期を遂げた。その移住した人たちを何と呼ぶか、答えなさい。また、生き残った人々も、引き揚げに際して厳しい苦難にあい、子供を中国に残すことになった。その子供を何と呼ぶか答えなさい。

〔2〕次の史料を読み、下記の問いに答えなさい（史料は省略したり、書き改めたりしたところがある）。

（寛仁二年十月）十六日乙巳、今日、⁽¹⁾女御藤原威子を以て皇后に立つるの日なり。……⁽²⁾太閤下官を招き呼びて云く、「⁽³⁾和歌を読まむと欲す。必ず和すべし。」者。答へて云く、「何ぞ和し奉らざらむや。」又云ふ、「誇りたる歌になむ有る。但し宿構に非ず。」者。「此の世をば我が世とぞ思ふ望月の かけたることも無しと思へば」。余申して云く、「御歌優美なり。酬答に方無し。満座只この御歌を誦すべし。……」と。（万寿二年七月）十一日辛卯、……天下の地悉く⁽⁴⁾一家の領となり、公領は立錐の地も無き歟。……

問1 下線部(1)について、その父を答えなさい。また、威子ら4姉妹は、皇后や皇太子妃となったが、その中の藤原彰子に仕え、『源氏物語』を記した人を答えなさい。

問2 下線部(2)について、誰のことか答えなさい。その後を継いだ子が、宇治の別荘を寺にしたが、その人物と寺を答えなさい。また、その寺の本尊を、下記の語群から選び記号で答えなさい。

- a 阿弥陀如来像 b 不空絹索観音像 c 不動明王像

問3 下線部(3)について、最初の勅撰和歌集を答えなさい。また、当時和歌を記した文字を答えなさい。

問4 下線部(4)について、摂政・関白を出す家柄を答えなさい。また、中・下級の貴族は、この家に取り入り、経済的に有利な地位を求めた。その地位を答えなさい。

〔3〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

⁽¹⁾7世紀初め以来、日本では中国でつくられた暦をそのまま採用してきた。とくに、⁽²⁾861年、朝廷で採用された（ ① ）の宣明暦は、（ ② ）寮の管理のもとで、長く使用されたが、（ ③ ）時代に入ると、実際の天体の動きとの誤差が大きくなり、改暦が必要となった。幕府基所の家に生まれた（ ④ ）は、（ ⑤ ）の授時暦をもとに、彼自身の観測による修正を加えて新暦の（ ⑥ ）をつくった。この功により、彼は幕府の（ ⑦ ）に任じられた。

（ ⑧ ）年12月に（ ⑨ ）を採用するまで、（⑥）を含めて全て太陰（⑨）であった。これは新月から次の新月の前日までを1か月とするもので、⁽³⁾大の月と小の月を配置し、19年に7回の閏月を設けた。しかし、この暦では気候とあわないことも多いので、農村では太陽の運行をもとにした（ ⑩ ）を目安にして農作業が行われた。

また、⁽⁴⁾干支は年月日・方角・時刻などの表示に用いられ、⁽⁵⁾吉凶を占う（②）道として、人々の日常生活に深く根をおろしていた。

問1 空欄（ ① ）～（ ⑩ ）に入る適切な語句を答えなさい。

問2 空欄（ ⑩ ）について、該当しないものを、下記の語群から選び記号で答えなさい。

a 節分 b 立春 c 夏至 d 秋分

問3 下線部(1)について、僧観勒が暦法を伝えた。どこの国の僧か答えなさい。

問4 下線部(2)について、下記のでき事で、一番時期に近いものを選び、記号で答えなさい。

a 承和の変 b 応天門の変 c 阿衡の紛議

問5 下線部(3)について、大の月と小の月はそれぞれ何日あるか答えなさい。

問6 下線部(4)について、十干十二支で表わされた下記のでき事を古い年代順に並びかえなさい。

- a 戊辰戦争 b 壬申の乱 c 乙巳の変

問7 下線部(5)について、①凶として家などに引き籠もったり、②凶の方角を避けて目的地へ向かうことを何というか、それぞれ答えなさい。

以下余白

